

# タウンサポーター



下都賀教育事務所 ふれあい学習課  
 栃木市神田町6-6 0282-23-3422  
 E-mail: shimotuga-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp



## 下都賀地区人権フォーラム

5月30日(木)に、栃木市岩舟文化会館にて、人権教育指導者一般研修「下都賀地区人権フォーラム」を開催しました。

前半は、小山市立小山第三中学校二年生の荒川空夢さんと小山市立大谷東小学校保護者の矢島早苗さんの人権に関する作文の朗読を行いました。二人の発表から、「外国の方に対して、自分に何ができるか考える機会となった」等の感想が多く寄せられました。

後半は、認定NPO法人多文化共生センター東京代表理事の伊木典子様による講演会を行いました。「多文化共生社会の実現を目指して」の演題のもと、外国にルーツをもつ子どもたちの学習・進学支援について分かりやすくお伝えいただきました。今回の研修をとおして、外国人への偏見や差別を解消し、一人の人間として尊重し、違いを豊かさへと変えていく社会を築いていくことの大切さを学ぶことができました。



## 令和元年度のふれあい学習推進委員紹介

栃木県立 太平少年自然の家 柿沢 知宏 様	壬生町教委 生涯学習課 高橋 唯拓 様	栃木市教委 生涯学習課 落合 崇 様	下野市教委 生涯学習文化課 漆原 聡 様	小山市教委 生涯学習課 田中 雄樹 様
-----------------------------	---------------------------	--------------------------	----------------------------	---------------------------



栃木県立 国分寺特別支援学校 高橋 薫 様	栃木市立 大平中央小学校 曾根 美幸 様	下野市 青少年市民会議 下野市 社会教育委員会議 大塚 宗里 様	特定非営利活動法人 栃木おやこ劇場 松本 春美 様	野木町教委 生涯学習課 島田 信司 様
-----------------------------	----------------------------	--	---------------------------------	---------------------------

今年度推進委員を委嘱した皆様です。  
 お力添えをいただきながら、下都賀地区のふれあい学習推進に努めてまいります。

## 壬生町

## 地域をつなぐ

## 壬生町版「地域元気プログラム」の活用



5月11日(土)生涯学習館にて、壬生町単位育成会長研修会を開催しました。その講師を「平成30年度地域課題解決型学習プログラム指導者養成研修」修了者3名(小島 佳苗氏、岡本 恵氏、森嶋 礼奈氏)が行いました。プログラム名は『BEST3を決定!?うちの地域の子どもは、こんな人に育ってほしい』で、参加者が地域の子どもに対して「こんな人に育ってほしい」をランキング化する活動とおして、育てたい子ども像のイメージを共有し、自分が地域の大人としてどのように振舞うべきかをグループで話し合ってお互いを深めていくことをねらいとしました。参加者の感想に「子どもたちの挨拶の声が小さいと気になっていましたが、今後は自らも進んで挨拶をしていこうと思います。」「子どもだけでなく、地域の方も住みよい“まちづくり”ができると思い思いました。」など大変好評でした。今後も地域課題解決のための学びや交流の機会を創出できるよう取り組んでいきたいと思っております。



## 太平少年自然の家

太平少年自然の家では、体験活動を伴う主催事業(詳しくはホームページ参照)を毎年実施しています。

その中には参加者が宿泊する事業がいくつかあります。そんな事業の際には、指導助手として、とても頼りになる「青年ボランティアリーダー(以下リーダー)」が登場します!このリーダーは大学生・社会人で構成されており、小学生参加者との交流や参加者への活動支援、安全確保などをやってくれています。実はこのリーダーたち、かつては主催事業の参加者でした。彼らは自分が小学生参加者だった頃、その当時活躍するリーダーに憧れ、そして自分が大人になると、リーダーとしてこの自然の家に戻ってきてくれたのです!小学生と大人の世代間交流活動から、とてもすてきな人の循環ができています。



## ふれあい学習

## 小山市

## 2019年度 おやま市民大学開講

小山市では、市民の皆様が求める高度な学習意欲に応え、現代的な課題や、郷土の自然・歴史・文化について学び、理解を深めるとともに、学んだ成果を十分に活かす「生涯学習推進リーダー」になることによって、まちづくりを推進することを目的とし、「おやま市民大学」を開講しております。



この事業では、継続した学習を行うことにより、様々な分野の学びを深めることができます。また、ボランティア養成の一助にもなっており、学びの成果を地域に還元していただいております。



2019年度は、「寺野東遺跡から学ぶ縄文文化養成コース」「現代的課題コース～考えよう!今ホットな社会問題～」「防災講座 地震水害火事キズナを考える」の3コースを開講いたします。

※写真は昨年度の市民大学の様子です。

## 「存じますか?」とちぎの高校生「じぶん未来学」

「とちぎの高校生『じぶん未来学』」は、やがて親となる子どもや若者が、親・家族・家庭などの意義や役割、地域の人間関係など、地域社会について主体的に学ぶことにより次世代を育成し、地域への愛着や定住意識の醸成を図るとともに、地域を支える気持ちを育むために作成されました。プログラムには「自分」「親」「子ども」「家族」「地域」「社会」の六つの視点があり、H29〜県内全ての高校において実施されています。各学校では、カリキュラムマネジメントと様々な工夫を行いながら、家庭、公民、総合的な学習の時間、特別活動の授業等を活用し、教科担任や学級担任が実施しています。

5月13日(月)には、総合教育センターにおいて、これまでの取組の成果と課題についてのパネルディスカッションや、プログラムの効果的な展開方法についてのグループ別協議が行われ、参加者は熱心に議論を交わしていました。



とちぎの高校生 じぶん未来学の冊子

「ふれあい学習」は、子どもを核とした幅広い年代の人々との交流活動や体験活動、学習活動を指します。

ふれあい学習を通して、学校・家庭・地域が連携・協力し、子どもの「生きる力」を育むとともに、家庭と地域の教育力の再生・充実を目指します。